



平成23年2月9日

各 位

会 社 名 サンフロンティア不動産株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 堀口 智 顕
(コード番号：8934 東証第一部)
問 合 せ 先 専務取締役管理本部長 齋藤 清 一
T E L : 0 3 - 5 5 2 1 - 1 5 5 1

平成23年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年5月13日に公表いたしました平成23年3月期の通期業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成23年3月期通期連結業績予想の修正（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,200	860	720	700	1,884.27
今回修正予想 (B)	4,150	580	410	350	942.13
増減額 (B-A)	△5,050	△280	△310	△350	—
増減率 (%)	△54.9	△32.6	△43.1	△50.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	14,469	△3,448	△3,776	△3,712	△10,764.64

2. 修正の理由

リプランニング事業において、期初の計画に基づき、物件の仕入及び販売活動に鋭意取り組んでまいりましたが、事業用不動産における市場の流動性が期初に想定したほどには回復しなかったことなどから、物件の仕入規模・件数ともに期初の計画を下回る水準で推移いたしました。また、上半期に予定していた物件の仕入が一部下半期にずれ込んだことに伴い、販売が翌期以降となる案件もありました。この結果、売上高は予想を下回る見通しとなりました。

一方、利益面については、不動産サービス事業の伸長や継続的な経費削減の効果もあり、黒字となったものの、前述のとおりリプランニング物件の販売が計画を下回ったことに加え、売買仲介事業においても案件の規模・件数ともに期初の想定を下回る水準で推移したことなどから、営業利益、経常利益、当期純利益ともに予想を下回る見通しとなりました。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上